

クリスマスに 平和を



ロシアはウクライナ侵略と 核の威嚇をやめて

ロシアがウクライナへの侵略を開始してから12月24日で10カ月となります。国連憲章違反のこの野蛮な侵略で、すでにウクライナの民間人死者は6490人、負傷者9978人、国内避難民は624万人、国外避難民778万人です（国連機関の発表＝11月初旬）。80万以上の家屋が破壊され（世界保健機構発表）、電力施設への攻撃激化により1200万人が厳冬の中で電気や水を絶たれ、生存の危機に直面しています。民間施設への攻撃は国際法違反です。しかもロシアは、新たな核兵器の配備を発表するなど、核兵器による威嚇も繰り返しています。

この無法な侵略を正当化することは絶対にできません。「ただちに撤退せよ」と声を上げましょう。

声を上げよう

- ▼街頭で戦争反対の意思を示そう
- ▼ロシア大使館へ届けよう
FAX: 03 (3505) 0593
E-mail: tokyo@mid.ru
- ▼TwitterなどSNSで
戦争反対、NoWar、
нетвойне、Противіни
とつぶやこう
(日本平和委員会の抗議行動は
Twitterなどで随時更新)
- ▼カンパ
UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) などがウクライナからの避難を強いられた人々への人道支援を呼びかけています。

軍拡でなく、停戦と平和的解決に全力を

10月12日の国連総会緊急特別会合は、ロシアによるウクライナ東部4州の併合を非難する決議を、加盟国の4分の3にあたる143カ国の賛成で採択しました。決議は、併合は「ウクライナの領土保全と主権を侵害し、国連憲章の諸原則と両立しないものであり、ロシア軍の即時、完全かつ無条件の撤退」を求めています。また「ウクライナの主権と領土保全を尊重しつ

つ、平和的解決を支持することを要請」しました。

日本政府はこの立場で、世界の人々と力を合わせ、一刻も早い停戦と平和的解決のために全力をあげるべきです。唯一の戦争被爆国として、核兵器を使うなど声を上げ、核兵器禁止条約に参加すべきです。この事態を口実に日米軍事同盟強化と大軍拡を進めれば、戦争の危険を自ら高めることになります。

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」
「憲法改悪を許さない全国署名」 にご賛同ください。 ※署名用紙は日本平和委員会HPから

日本平和委員会

2022年12月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
「平和新聞」(旬刊)、「平和運動」(月刊) 発行中

<http://j-peace.org/> (t) (f)

